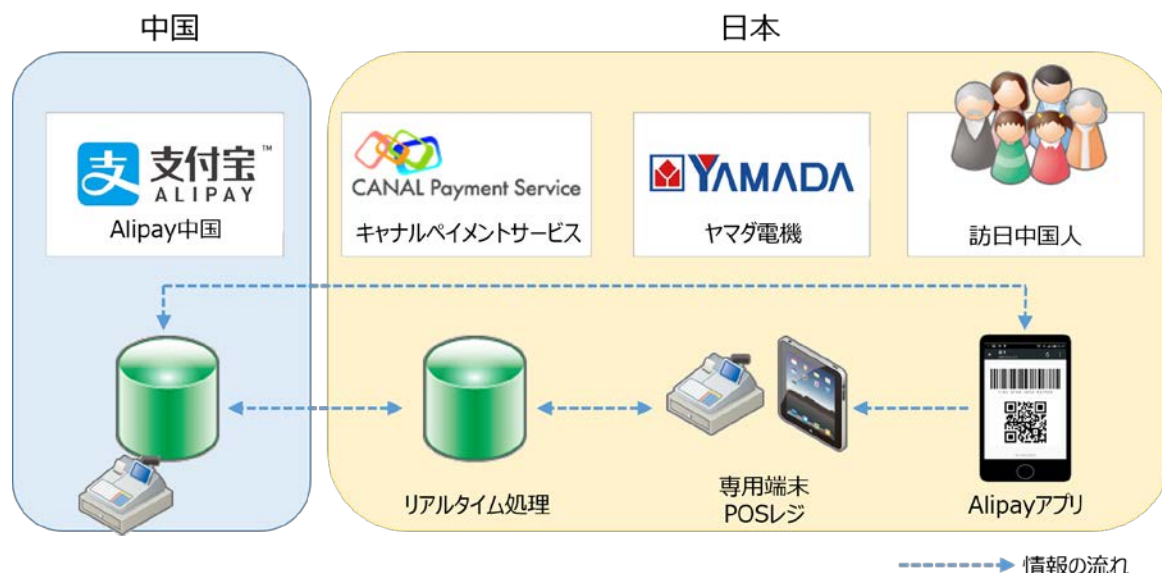


2017年10月26日

キャナルペイメントサービス ヤマダ電機の全店舗で「支付宝® (Alipay®)」サービスを提供 ～ 2020年に向けて訪日外国人に対するサービスを強化。 POS 端末での決済処理を可能に～

日本ユニシスグループのキャナルペイメントサービスは、ヤマダ電機への「支付宝 (Alipay)」サービスにおいて、POS 端末での決済処理を可能にし、全店舗 約 800 店舗に拡大しました。

キャナルペイメントサービスは、訪日外国人が 4,000 万人に到達すると予測される 2020 年に向け、訪日外国人のお客さまが、より便利に安心して買い物するための環境整備を続けていきます。



【ヤマダ電機での「支付宝 (Alipay)」サービスについて】

ヤマダ電機は、業界他社に先駆け、2015年12月からオンライン決済サービス「支付宝 (Alipay)」を導入し、訪日外国人のお客さまがより便利に買い物を楽しむためのサービスを続けてきました。今回、利用店舗を全店舗に拡大し、訪日外国人に向けたサービスを強化します。またタブレット端末での決済から、POS 端末での決済処理ができるようになり、導入店舗の全ての POS レジでの利用が可能になることで、お客さまの利便性向上を図ります。

【キャナルペイメントサービス株式会社について】

キャナルペイメントサービスは、日本ユニシスの中国系決済サービスおよびプリペイドカードなどへのチャージを行うチャージポイント事業を分社化し、2017年3月10日に設立された会社です。

チャージポイント事業では、2015年7月1日に開始した「JCB プレモカード」へのチャージサービスを皮切りに、「au Wallet®/WM」、「おさいふ Ponta®」、「LINE Pay®」などのチャージや店舗での利用を可能にするプラットフォームを展開。

中国系決済サービス「支付宝 (Alipay)」事業では、ヤマダ電機、高島屋、ドン・キホーテ、成田国際空港、全国のローソン店舗など、多くの小売事業者にサービスを提供しています。

【支付宝 (Alipay) について】

「Alipay」(アリペイ) は、2004 年にアリババグループによって設立された世界最大規模の決済プラットフォームです。リアル店舗向けの対面決済をはじめ、スマートフォンをベースとした各種生活サービス、資産運用の商品も展開しています。

また、中国国内の 80 万加盟店および海外の 12 万加盟店で利用されています。中国国内の実名認証ユーザー数は 4.5 億人 (2015 年度) を超え、中国のモバイル決済市場で最大規模のシェアを持っています。



以 上

※チャンネルペイメントサービス、CANAL Payment Service (ロゴ) は、チャンネルペイメントサービス株式会社の登録商標です。

※支付宝、Alipay は、アリババグループの関連会社であるアントフィナンシャルの登録商標です。

※au Wallet は、KDDI 株式会社の登録商標です。

※おさいふ Ponta は、株式会社ロイヤリティマーケティングの登録商標です。

※LINE Pay は LINE 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※関連 URL :

チャンネルペイメントサービス株式会社 <http://www.canalpayment.co.jp/>

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。